



## かげはどうしてできるの

### 物の光をさえぎる

よく晴れて、太陽の光があたっているときに外へ出ると、自分のかげができます。自分のかげのほかに、木や建物のかげなど、いろいろなかげができています。かげは、太陽の光にあたっているほうの反対側にできています。

かげができるのは、太陽の光だけではありません。室内でのけい光灯の光によるかげ、夜でも、外灯の光や月の明かりでできるかげなど、かげはいろいろなときにできます。かげは、光とその光をさえぎる物があるときは、いつでもできます。

### 光はまっすぐに進む

太陽の光、けい光灯の光、月の光など、光の種類はちがっていても、光はまっすぐに進むという性質があります。それで、光がまっすぐに進んで来て、その光をさえぎる物にぶつかると、かげができるのです。

### 物によってかげのこさにちがいがあ

かげのこさのちがいは、その物が光を通すかどうかによります。木の板や金属のふた、鏡などは光を通さないの、こいかげができます。これにたいして、とう明なポリエチレンやビニルのふくろ、ガラスの板などは、光を通すので、うすいかげができます。また、とう明で色のついている物では、色のついたかげができます。(監修・小川 格)

